

## バッテリーの取扱、保管方法

※手順を正しく実行しないと、物的な損害が発生するとともに、巻き添え事故、重傷の恐れがあるほか、高い確率で軽傷を負います。

機体受渡時の免責事項および付属書類をよく読んで、本製品の操作前に機能に習熟してください。これは高性能の製品です。慎重かつ良識をもった操作とともに、基本的な機械知識が求められます。

本製品を安全かつ責任をもって操作しないと、傷害や本製品またはその他の財産の損害を招くおそれがあります。本製品は、JUIDA相当の資格保有者で弊社規程の大型操縦セミナー受講を受けた者以外の使用を想定していません。また、当社から提供時以外の方法で本製品を改造しないでください。本安全ガイドラインには、安全、操作、メンテナンスの手順を記載しています。本製品を正しく操作し、損害や重傷を避けるためには、組み立て、設定、使用を開始する前に、免責事項を読み、これに従うことが重要です。

### バッテリーの使用

1. バッテリーはいかなる液体類にも接触させないでください。バッテリーを雨に曝したり、水分の近くに放置したりしないで下さい。水中に落とさないでください。バッテリー内に水分が入ると、化学分解が発生し、発火して、爆発につながるおそれがあります。
2. 当社指定のバッテリー以外を使用しないでください。新しいバッテリーを購入するには、当社 ([https://saitotec.com/contact/contact\\_a/](https://saitotec.com/contact/contact_a/)) にお問い合わせ下さい。当社指定以外のバッテリーに起因する損害に対して、サイトテック(株)は一切責任を負いません。
3. バッテリーに膨張、漏れ、損傷がある場合には使用しないでください。バッテリーに異常がある場合には、サイトテック(株)にお問い合わせ下さい。
4. 機体の電源がオンの状態で、バッテリーの装着や取り外しをしないでください。バッテリーのコネクタに破れなどの傷がある場合には、バッテリーの装着や取り外しをしないでください。
5. バッテリーは 5~40°Cの温度で使用してください。50°Cを超える環境でバッテリーを使用すると、火災や爆発につながるおそれがあります。低温下でバッテリーを使用すると、回復不能な損傷につながる可能性があります。
6. 低温時の使用の際は、バッテリーをカイロなどで全体的に温めるようにして20°C以上で使用して下さい。
7. 強い静電環境や電磁環境でバッテリーを使用しないで下さい。こうした環境でバッテリーを使用すると、フライト中に機体のコンパスが誤作動し重大な事故につながる恐れがあります。
8. いかなる方法でもバッテリーの分解や穴あけを行わないでください。バッテリーの漏れ、発火、爆発が起こるおそれがあります。
9. バッテリーの電解質には非常に高い腐食性があります。電解質が皮膚に触れたり、眼に入った場合には、ただちに流水で 15 分間以上洗い流してから、すぐに医師の診察を受けてください。
10. 墜落などにより激しい衝撃を受けたバッテリーは使用しないでください。

11. フライト中に、バッテリーが機体とともに水中に落下した場合には、すぐに水中から取り出して、安全で開けた場所に置いておきます。完全に乾燥するまで、バッテリーから安全距離を保ってください。バッテリーは今後一切使用せず、以下の「バッテリーの廃棄」のセクションの記載に従って、適切にバッテリーを廃棄してください。

12. バッテリーを熱さないでください。バッテリーが発火した場合には、無理に消火しようとせず安全な所まで非難し鎮火するまで待って下さい。その際に有毒ガスは、吸わないで下さい。

13. 金属製テーブルなど導電性を有する物の表面上に、ケースから取り出した電池をそのまま置かないでください。

14. バッテリーを落下させたり、叩かないでください。バッテリーや充電器の上に重量のある物を置かないでください。

15. 清潔な乾いた布でバッテリー端子を清掃してください。

16. 機体に接続して使用する前にバッテリーチェッカーにてセルバランスを確認後機体に接続してください。

#### バッテリーの充電

1. バッテリーをコンセントや自動車のソケット充電器に直接接続せず、当社指定のアダプタを使用してください。当社指定のアダプタ以外を使用してバッテリーを充電した場合、当社（SAITOTEC）一切の責任を負いません。

2. 充電中にバッテリーを放置しないでください。可燃物の近くやカーペット、木などの燃えやすい物の上でバッテリーを充電しないでください。

3. フライトの直後にはバッテリーが過熱しているため、すぐに充電しないでください。常温に冷めるまで、バッテリーを充電しないでください。バッテリーを 5~40 ° C の温度範囲外で充電すると、漏れ、過熱、バッテリーの損傷に至るおそれがあります。

4. 使用しないときには、充電器を取り外してください。コード、プラグ、筐体、その他の部品に損傷がないか、充電器を定期的を確認します。

5. 変性したアルコールまたはその他の可燃性溶剤で、充電器を清掃しないでください。損傷した充電器を使用しないでください。

#### バッテリーの保管

1. 安全かつ管理が出来る室内にバッテリーを保管してください。

2. 炉やヒーターなどの熱源の近くにバッテリーを放置しないでください。暑い日にバッテリーを自動車内や倉庫に放置しないで下さい。理想的な保管温度は 22~28 ° C です。

3. バッテリーは乾燥した状態で維持してください。水中にバッテリーを落とさないでください。

4. バッテリーを落としたり、叩いたり、突き刺したり、手でショートなどをしないで下さい。

5. バッテリーを鉄板、足場、鉄骨、鉄筋などの金属に近づけないでください。

6. 損傷したバッテリーや、電力の残量が 50 % を超えるバッテリーを搬送しないでください。

7. 長期間保管の場合は、1セルあたり3.8V程度まで充電し、1,2ヶ月おきに電圧の確認をしてください。満充電状態で長期間保管するとセルが膨らんだり劣化したりします。

### バッテリーの廃棄

1. ペットボトルなどの容器に塩と水を入れ、3～5%の濃度の食塩水を作ります。
2. 作った食塩水の中に、コネクタを下に向け全て浸かるようにリポバッテリーを入れます。
3. 食塩水に浸したまま1週間ほど待ちます。
4. 1週間経過後、各自治体の指示に従い廃棄してください。

### バッテリーのメンテナンス

1. 極端な高温や低温でバッテリーを使用しないでください。
2. 極端な高温、低温環境にバッテリーを保管しないでください。
3. 劣化の原因となりますので満充電状態のままにしないでください。リポバッテリーはほとんど自然放電しないので最後の使用后、充電せずに保管し、飛行前日又は、当日に充電してください。

### 移動に関する注意

1. 当社規定のバッテリーケースに入れた状態で運んでください。
2. バッテリーを複数個ケースに入れて運搬する際にコネクタ端子が接触しないように運搬してください。短絡する可能性があります。